

第 25 回大会のオンライン開催について(プログラム一部変更についてのお知らせ)

先般よりご案内しておりました第 25 回大会ですが、プログラムが一部変更(赤字箇所、ポスターセッションの時間等)となりましたのでお知らせいたします。また、Zoom の操作に不安がある方は、30 分程度早めに参加をしていただければ幸いです。

■日程:2020 年 10 月 31 日(土)、11 月 1 日(日)の2日間

■主にウェブ会議システム Zoom を利用して開催

■テーマ:人々とミュージアム-社会に発信するミュージアム

■開催趣旨

本学会は、2018 年度~2020 年度において、外国人、障がい者、高齢者など、ミュージアムの利用に当たり配慮が必要な人々に注目し、「人々とミュージアム」をテーマに、ミュージアムを取り巻く人々とミュージアムとの関係性に関する研究活動と情報発信を展開している。2020 年度の第 25 回大会は「社会に発信するミュージアム」をサブテーマに議論を深めることとしている。

2020 年は、感染症の拡大とその予防のために閉館を強いられたミュージアムもあり、「新しい生活様式」を踏まえたミュージアムの機能や社会的役割の再考が求められている。これは、本来の質の高い文化活動へのギアチェンジのチャンスかもしれない。

閉館の間、オンラインで、収蔵品、ワークショップや学芸員の仕事ぶりなどを情報発信しているミュージアムもあり、展示だけでは知ることができないミュージアムの機能を見ることができ、人々の多面的な理解が深まったのではないだろうか。今後リスクを考えると ITC による情報発信、入場制限、安全で快適な鑑賞環境、非接触型のハンズオン活動・ワークショップや、集客戦略の見直し、経営体質の改善など、ミュージアム・マネージメントにおいて大きな課題がある。

これらは「不確実性とリスクのある中でのミュージアム・マネージメント」の模索である。2020 年は人々とミュージアムが「新しい生活様式」あるいは「New Normal」の試行の中で、「人々とともに創るミュージアム・マネージメント」の機会とも考えられる。そこで本年度の大会は「社会に発信するミュージアム」をテーマに、オンラインで開催し、遠方や未会員の方にも参加していただき、これまでの学会と会員の成果を広く社会に発信する。

■プログラム(予定) *都合により変更にある場合がございます。ご了承ください。

10 月 31 日(土) (1 日目)

13:30~13:40 開会挨拶:水嶋英治会長

13:40~13:50 大会趣旨説明:小川義和大会実行委員長

13:50~14:10 大堀哲賞授与式及び受賞者挨拶

14:20~14:30 法人会員の表彰

14:40~17:00 コロナ禍におけるミュージアム・マネージメントのあり方に関する緊急シンポジウム(基調報告、分科会)

14:40~15:05 <基調報告>「コロナ禍による影響と、コロナ禍を乗り越えるための取り組みに関するアンケート調査結果のご報告」(齊藤恵理副会長:報告約 15 分、意見交換 10 分)

15:05~15:15 分科会開催趣旨説明:松永久副会長

(休憩 10 分)

15:25~16:25 分科会(ルーム1~6) (60 分)

ルーム1:科学系博物館(司会:亀井修)

ルーム2:子供のための博物館(司会:高尾戸美)

ルーム3:人文系・歴史系博物館(司会:五月女賢司)

ルーム4:美術館(司会:佐藤琴)

ルーム5:動物園・植物園・水族館(司会:牧慎一郎)

ルーム6:大学関係(学芸員課程など)(司会:江水是仁)

ルーム7:ミュージアムの設置・経営形態(PPP・PFI、独法、直営)(司会:中島宏一)

※分科会は原則、1ルームのご参加となり、複数のルームにはご参加いただけませんが、
ご自身で操作をし、ご自身の責任においてルーム間の移動を行う場合は、その限りとい
たしません。

※お名前(参加者名)の変更をお願いします(参加されるルーム番号+氏名、例:3山田太
郎)。お名前の前の番号を確認して、ホストが各ルームに参加者をわけます

16:25~17:00 各ルームのまとめ(各ルーム司会と松永久副会長)

11月1日(日)(第2日目)

09:30~14:00 会員研究発表 各研究発表の質疑については、各セッションの研究発表が終了したところまでまとめておこないます

09:30~10:40 セッション1(各発表10分、質疑20分) 司会:高尾戸美

(1)	09:30~09:40	「モノ資料」の多角的活用に向けた提言~分野を超えたDataが研究と活用を新たな局面に誘う~	新和宏(千葉市科学館)
(2)	09:40~09:50	持続可能な企業博物館へ向けてのビジョン・デザイン	町田小織(東洋英和女学院)
(3)	09:50~10:00	デカルトとカントにみる啓蒙思想からの博物館の問い直し	小笠原喜康(日本博物館教育研究所)
(4)	10:00~10:10	美術館における「おしずかに」の問い直し:「礼法教育」からのアプローチ	内海美由紀(日本大学文理学部)
(5)	10:10~10:20	ミュージアムにおける収蔵展示に関する基礎的研究~国内ミュージアムへのアンケート調査結果の分析から~	加藤謙一(金沢学院大学)
	10:20~10:40	セッション1の質疑応答	

(休憩20分)

11:00~12:00セッション2(各発表10分、質疑20分) 司会:田代英俊

(6)	11:00~11:10	博物館の新たな在り方を模索するための体験学習・ワークショップ評価の構築	鳥谷真佐子(慶應義塾大学) 阿児雄之(東京国立博物館) 野口淳(奈良文化財研究所)
(7)	11:10~11:20	研究者と職員の協働による動物園教育プログラムのデザインと評価	松本朱実(動物教材研究所 pocket・近畿大学)
(8)	11:20~11:30	科学系博物館における幼児の博物館体験に関する考察	細川(朴)咲輝(元国立科学博物館支援研究員) 小川達也(国立科学博物館) 小川義和(国立科学博物館)
(9)	11:30~11:40	学芸員資格を持つ価値とは-博物館実習修了者のアンケート調査の分析より-	江水是仁(東海大学) 浜田弘明(桜美林大学) 井上由佳(明治大学)
	11:40~12:00	セッション2の質疑応答	

(休憩60分)

13:00~14:00 セッション3(各発表10分、質疑20分) 司会:江水是仁

(10)	13:00~13:10	中規模科学館におけるサイエンステーブル等の演示プログラムの展開-福岡市科学館の取り組み-	平井康之(九州大学大学院芸術工学研究院) 小林翔(元福岡市科学館) 土田明憲(福岡市科学館) 高安礼士(福岡市科学館)
(11)	13:10~13:20	大学博物館における学生参画型の図面デジタル化プロジェクト~明治初期勸業寮製糸場の3D復元~	齊藤有里加(東京農工大学科学博物館)
(12)	13:20~13:30	歴史・文化を“次世代に伝承する”新たなミュージアムマネジメント	中瀬尚子(乃村工藝社)
(13)	13:30~13:40	さわれる展示を紹介する点字冊子の作成からみえてきたこと-国立科学博物館での取り組み事例から-	島絵里子(大阪市立自然史博物館)
	13:40~14:00	セッション3の質疑応答	

(休憩30分)

14:30～15:00 ポスターセッション(90分→30分に変更) 司会:三島美佐子理事、田代英俊理事、齊藤副会長
 インデックスプレゼンテーション(各1分程度)後、ルームにわかれてセッション(ブレイクアウトセッション)

(1)	中国の自然科学系博物館における体験学習の現状と課題—上海自然博物館を例に—	徐 萍
(2)	プランクトンでビンゴ! 展示室で来館者をプランクトンの深みへ、そしてワールドへと誘う入口プログラムの開発と検証	芦谷美奈子、鈴木隆仁、松田征也、楠岡泰(滋賀県立琵琶湖博物館)
(3)	科学館の特別展における包括的な展示テーマの設定について ～地球のフシギを体感!Hawaii 展を事例として～	森 沙耶(北海道大学理学院)

※具体的な実施方法は、別紙2「参加いただく際の注意事項」をご参照ください。

15:00～15:10 閉会挨拶:緒方泉副会長

■参加について

- (1) 必ず事前に別紙申込用紙または当学会 HP の申込フォームにて、参加申込をお願い致します。お申込みがない場合はご参加いただけない場合がございます。(申込期日 2020 年 10 月 26 日(月)、ただし事務局会場での参加の場合は 10 月 16 日(金)まで 申込受付終了)
- (2) 申込者には後日、Zoom のミーティング ID と PW、参加 URL をお知らせします。(メールでご連絡済みです。お手元に届いていない方は事務局までご連絡下さい)
 ※ID、PWを第三者に知らせることは禁止します。
 ※Zoom 等の操作方法につきましては、各参加者でご確認ください。オンライン参加にあたっては、Zoom のアカウント登録をお持ちでない方も、ゲストユーザーとして参加可能です。
- (3) 本オンライン大会は試行的に開催するため、今年度は参加費無料となります。

■事務局会場またはサテライト会場でのご参加について

オンライン環境が整わない等の理由により、事務局の会場にてご参加を希望される方は、事務局までその旨ご連絡下さい。感染拡大防止のため、人数を制限して(定員 25 名)事務局にてご参加いただけます。ただし、入館方法等にも制限がございますため、事務局までお問合せ下さい。
 また、九州地区の方は、サテライト会場(福岡市科学館)でもご参加いただけます。こちらも人数を制限(定員 24 名)しております。後日改めてお知らせいたします。

■その他

- (1) 別紙1「日本ミュージアム・マネジメント学会オンライン発表におけるガイドライン」ならびに別紙2「参加いただく際の注意事項」を確認・了承いただいた上でのご参加をお願い致します。
- (2) 発表要旨は事前に JMMA のホームページに掲載致します。ご覧いただくには、事務局より発行します ID と PW が必要となります(参加お申込み後に発行) (一両日中に掲載予定です)。
- (3) 諸事情や今後の準備状況により、プログラムや実施方法等に変更が生じる可能性があります。あらかじめご了承下さい。
- (4) Zoom を用いてのオンライン開催にあたり、不具合等が生じても十分なサポートができない可能性がありますこと、あらかじめご容赦ください。
- (5) 本オンライン大会への参加に要する通信環境の整備、通信料は、参加者各自でご負担ください。

日本ミュージアム・マネジメント学会 大会実行委員会
 〒135-0091 東京都港区台場 2-3-4 (株)乃村工藝社内
 電話・ファックス 03-3570-2498 メール:kanri@jmma-net.org

(別紙1)

日本ミュージアム・マネージメント学会オンライン発表におけるガイドライン

1. 著作権

発表者は、オンライン時にパワーポイント等に使用する著作物（写真、本、絵、イラスト、音楽、映像、等）の著作権（複製・公衆送信）について確認し、使用許可等必要な措置をとること（営利を目的としない上演、演奏、上映、口述（著作権法第38条）の権利制限規定は、オンラインでは適用されない）。

また、発表で用いる資料をダウンロードさせる場合には、そこに著作権（複製・公衆送信）の許可をとっていない著作物が含まれないように気をつけること。

自身が撮影した映像・画像であっても、神社・仏閣、美術品、芸能人の肖像、映画のシーンは使用しないこと。

オンライン発表におけるスライド等コンテンツの著作権は、発表者に帰属するが、当該コンテンツが第三者の権利や利益の侵害問題を生じさせた場合、発表者が一切の責任を負うこと。当学会は責任を負わない。

2. 肖像権

テレビ会議システム等で発表者および聴講者の顔が判別できる状態で録画や画面撮影等をする場合は、撮影すること及び撮影した写真等の二次利用について、発表者および聴講者の許諾を取る必要がある。発表者および聴講者が未成年の場合は保護者の許諾も必要となる。

このように、それぞれの許諾をとる必要が生じることから、発表者および聴講者が画面の撮影や録画を行うことについては基本的に許可しない（事務局はオンライン会議システムの録画機能を管理者権限でできない設定とすること）。

また、聴講者が受信した画像や発表者がオンライン上に公開した資料の録画（画面キャプチャを含む）、保存、配布は禁止とする（ただし、事務局が事前に公開した発表要旨は除外とする）。

3. 個人情報保護・情報セキュリティ対策（事務局及びサテライト会場）

発表者および聴講者の個人情報について、オンラインで開催するために取得した参加者等の氏名・住所だけでなく、オンライン上のデータ（発表者および聴講者の周辺情報含む）についての管理に気をつけること。

また、第三者から発表活動の妨害を受けるようなことがないよう、使用するソフト等の情報セキュリティにも気をつけること。

附則

本ガイドラインは2020年8月1日より施行する。

オンライン発表等の状況により、本ガイドラインは理事会の承認を得たうえで改訂することができる。

※本ガイドラインは一般社団法人電子情報通信学会の「オンライン発表でのプレゼンテーションのガイドライン」を参考に作成いたしました。

(別紙2)

ご参加にあたっての注意事項

JMMA 第25回大会はZoomを利用してオンラインで開催致します。参加お申込みいただく際は、別紙1「日本ミュージアム・マネジメント学会オンライン発表におけるガイドライン」を熟読いただいた上で、お申込みをお願い致します。申込をいただいた方はガイドラインにご了承いただいたことと致します。

1. ご参加いただくためには、事前のお申し込みが必要です。
2. Zoom等の操作方法につきましては、各参加者でご確認ください。オンライン参加にあたってはZoomのアカウント登録をお持ちでない方も、ゲストユーザーとして参加可能です。
3. 主催者や司会者が発表者・参加者が識別できるよう、Zoomにご参加の際に、分科会ルーム番号およびお名前（フルネーム）を表記（例：1山田太郎）ください。お名前が表示されませんとご参加いただけない場合がございますのでご注意ください。
4. ミーティングID、パスワード、参加URLは第三者に知らせないでください。
5. ご発言の時以外はマイクをミュートにしてください。
6. 主催者はセミナーは録画致しますので、ご希望に応じてビデオ（カメラ）はオフにしてください。
7. 主催者以外の録画録音、URLの無断共有、チャットでの誹謗中傷、参加者の情報公開は固く禁止致します。
8. 途中からの参加、退出などはご自由にできます。

[質疑応答について]

9. 質疑応答は、原則、チャット機能を利用します。「手を挙げる」ボタンを用いることも可能ですが、参加者が多い場合は、司会者が見落とす可能性がございますのでご注意ください。

[会員研究発表]

11. 会員研究発表は入退出自由です

[ポスターセッション]

12. ポスターセッションは「ブレイクアウトセッション」機能を用いて実施します。
ポスターセッションは3ルームで実施致します。
インデックスプレゼンテーション終了後、参加者を3グループにホストが自動的にわけ、各ルームへ振り分けます。
13. ルーム間の移動は自由とし、強制ローテーションはおこいません。移動はご自身の操作でお願いします。また、ルーム間の移動はZoomの最新版が必要です。バージョンを最新にしておいでください。
14. ポスターの発表については、発表者よりポスターの説明があり、その後、質疑応答を実施します。参加者は質問の際に所属・氏名を伝えてから質問していただくことをお願い致します。